

様式第7号（補助金交付要綱第14条関係）

事業実施報告書

●必要に応じて記載欄を拡大縮小してください。また、図面、イラスト、写真、見積書等活動内容の参考となるものがあれば添付してください（ただし、提出される書類は、A4判（両面使用も可）に統一してください。）。

1 学校名		〇〇高等学校
2 教育活動	区分	① 生活交通の維持・確保について
	テーマ	高齢者の移動手段確保について
3 連携した市町		□□町
4 連携した企業、団体等		〇〇株式会社、□□自治会、△△町内会
5 参加した生徒		(学科、学年ごとに人数を記載してください。) 普通科 3年 〇〇人 2年 〇〇人
6 活動の内容		(実施期間、場所、取り組んだ内容等を具体的に記載してください。) ①アンケート、聞き取り調査の実施 〇月〇日 アンケート(▲▲地域の高齢者を対象)を実施。また、〇月〇日～〇日に〇〇〇地域センターにて高齢者を対象とした聞き取り調査を実施した。 ※校内でインフルエンザが流行し、地域の高齢者への聞き取り調査は、少人数短時間で実施することとなった。できるだけ多くの声を聞くため、結果として訪問回数が増加となった。 ②現状についてのヒアリング 〇月〇日に□□町□□課、〇月×日に〇〇株式会社を訪問し、現状の利用実態や課題について話を伺った。 ③方策検討 〇月～〇月にかけて上記①②結果を整理分析し、有効施策の仮説を立案。〇月〇日、〇日、□月〇日に現地へ行き、施策の有効性や改善点について検証し、フラッシュアップを行った。 ④〇月〇日、連携した団体や町等に向けた報告会をオンラインで開催した。
7 活動効果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告会では、活動に協力して頂いた団体や地域住民に対して分析結果や施策案を示し、情報や課題意識の共有を図ることができた。報告会の中で〇〇や××という意見もいただき、今後の展開が期待できるものとなった。 ・ 今回初めて□□町▲▲地域を訪れた生徒もいたが、聞き取りで直接住民個人の声を聞く、自分自身が町内の移動手段を利用する、といった活動を通じ、「□□町でより良く暮らすためには」という課題を身近なこととして考えるようになった。

補助事業計画書（様式第2号）に記載の活動内容で実施できなかったもの等がある場合は、その経緯も記載してください。

補助事業計画書（様式第2号）に記載の活動目的や期待される成果に対する結果を記載してください。その際、活動が地域にどのように還元されたかという視点からまとめるようにしてください。